



いいで町

185号

# 議会だより



停まってくれてありがとう（添川小学校前丁字路）

## 3月定例議会



携帯・スマホからアクセス！

3月定例会	P 2 ~ 3
施政方針・総疑質疑	P 4 ~ 5
一般質問	P 7 ~ 12
予算特別委員会	P 14 ~ 17
各種研修会	P 19
各常任委員会	P 20 ~ 21
特別委員会中間報告	P 22 ~ 23
事務組合報告	P 24

# 会計予算及び水道事業会計予算

総額29億9,766万円)

3月定例会

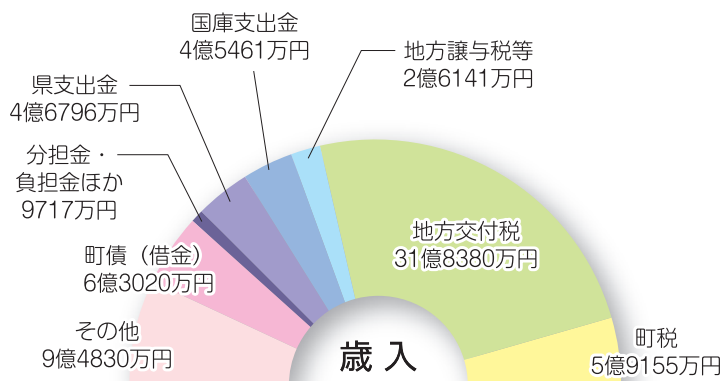
## 議会定例会の概要

令和4年第2回定例会は、3月1日から11日までの11日間開催され、6人の議員が一般質問に立ち、町政を問いました。

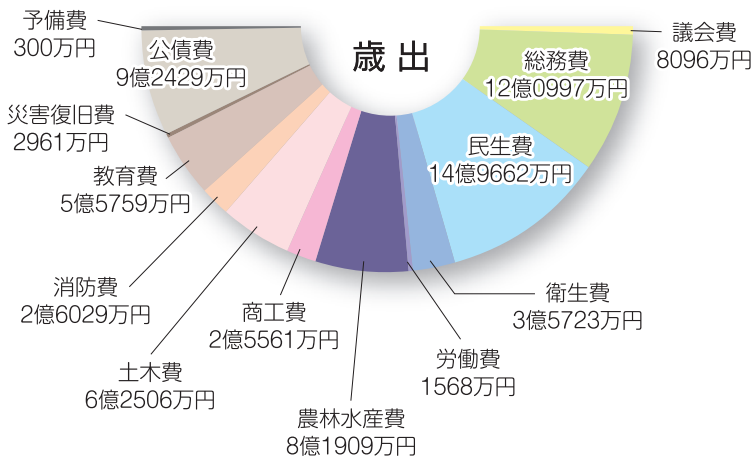
議案は、豪雪に伴う除雪経費増額の補正予算の専決処分の承認が2件、新たな条例の設定が1件、条例の廃止が1件、条例の一部改正が10件、一般会計及び各特別会計の補正予算12件、工事請負契約の変更が2件、国土利用計画の議決、県との委託契約、置賜広域行政事務組合規約の一部改正及び令和4年度一般会計予算並びに特別会計及び水道事業会計予算13件、追加議案の補正予算1件、人事案件4件、発議4件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## 令和4年度 当初予算額

会計名	予算額	
一般会計	66億3500万円	
特別会計	国民健康保険	8億5387万円
	事業勘定	7億5648万円
	直営診療施設勘定	9739万円
	後期高齢者医療	9940万円
	介護保険	9億3854万円
	訪問看護	1840万円
	介護老人保健施設	2億9889万円
	下水道事業	4億6552万円
	萩生財産区	41万円
	豊原財産区	32万円
水道事業会計	添川財産区	934万円
	豊川財産区	23万円
	中津川財産区	1516万円
	水道事業会計	2億9758万円
損益勘定	2億1465万円	
資本勘定	8292万円	
合計	96億3266万円	



## 令和4年度 一般会計当初予算





# 令和4年度一般会計予算、特別

(一般会計予算総額 66億3,500万円、特別会計予算

## 令和4年度の一般会計当初予算の歳入概要

一般会計予算の総額は、前年対比2億9,200万円減の66億3,500万円となりました。

歳入の主な内容は、固定資産税などの地方税、児童手当国庫負担金、新型コロナウイルスワクチン接種対策国庫負担金、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業補助金、子ども・子育て支援事業国庫補助金、園芸大国やまがた産地育成支援事業費県補助金、企業版ふるさと寄付金、消雪設備整備事業のための地方債の発行及び財政調整基金からの繰入などです。

## 令和4年度の一般会計当初予算の歳出概要

○児童発達支援施設開設事業	9,000万円	○里山再生事業	642万円
○新型コロナウイルス感染症対策事業	3,456万円	○消雪設備改修事業	4,930万円
○母子保健・子育て世代包括支援事業	561万円	○バイオマス地産地消対策事業	3,600万円
○出産支援給付金交付事業	207万円	○全国道の駅シンポジウム	110万円
○認定こども園運営事業	2億6,815万円	○ふるさと納税事業	7,467万円
○地域づくり推進事業	823万円	○空き家対策事業	527万円
○町民総合センター大規模改修事業	3億円	○移住定住促進事業	604万円
○外国語指導助手配置事業	1,122万円	○地域おこし協力隊受入事業	2,199万円
○学校・家庭・地域の連携協働推進事業	593万円	○畜産所得向上支援事業	1,298万円
○英語検定補助	10万円	○飯豊・農の未来事業	727万円
○消防施設整備等事業	1,339万円	○新産業集積事業	3,272万円
		○行政事務情報化推進事業	3,706万円
		○東北SDGs未来都市シンポジウム	303万円

## 萩生地内に建設予定の児童発達支援施設完成予定図



ホール内部図



外観パース図

施政方針

# 行財政大綱による柔軟な行政組織を構築し、各種事業を着実に実行



飯豊町長

後藤 幸平

## 施政方針概要

地方自治体の会計制度も常にストックを意識した会計運営を図ることが求められています。資産としてストックの活用を活発にする行財政運営への配慮が重要であり、ストック効果をいかに狙っていくかが、地方自治体の財政運営成否を左右することになると思われます。飯豊町はSDGsの選定を受け、それは、環境重視の社会の一翼を担う電池バレー構想実現の羅針盤と符合するものです。そこを貫く一筋の方針は持続可能性の理念と共生互恵の人材輩出の理念です。

## 予算編成方針

将来にわたる持続可能な財政運営を確保するため、「最小の経費で最大の効果を挙げる」という行財政運営の基本に加え、「資産と資源のストックを活用する」というフロー&ストックの両面を駆使していかなければなりません。

そのため、第5次飯豊町行財政改革大綱に基づき、無駄を省き事務の生産性を挙げるための柔軟な行政組織を構築し、健全な財政基盤づくりに努めながら各種事業の着実な実行に向け、機を逸することなく必要な投資を織り込んだところであります。

## 令和4年度の主要政策

### 人をはぐくむまち

◆各地区が主体的に取り組む小規模で多機能な事業に対して、引き続き支援してまいります



大したもんだプロジェクト

◆次世代を担う若者や女性などのまちづくり人材を育成する「いいで未来カフェ」を継続してまいります。

◆地区まちづくりセンターとしてあるべき姿や運営形態について協議し地域住民参画による運営体制の構築に再検討してまいります。

◆子供たちの生きる力を育成するため「いいでの子大したもんだプロジェクト」を継続してまいります。

### 世代をつなぐまち

◆保護者の所得により3歳未満の子供の保育料の軽減、年齢18歳までの医療費の無料化を継続してまいります。

◆産後ケア事業を継続します。さらに新生児聴覚検査の助成を継続します。また、3才児健診での視力屈折検査を導入してまいります。

◆高齢者の支援について、地域安全克雪方針の策定を進めてまいります。

### 縁をつむぐまち

◆誘客の地域資源として活用するため関係団体との連携を深め、旅行商品化に努めます。

◆特定空き家等は、所有者等に対する助言や指導、勧告などの法的処置を進めてまいります。

### 郷土をたがやすまち

◆地域防災計画に基づき、災害に強いまちづくりを推進します。

◆手の子地内の下水道事業は令和5年度の整備完了を目指して取り組んでまいります。

### 可能性をひらくまち

◆バイオガス発電所の「液肥」を有効活用し、飯豊型の循環型耕畜連携を推進します。

◆飯豊電池バレー構想について、専門職大学は2023年4月開学に向けた支援を継続してまいります。貸工場は令和4年中の操業開始に向け、事業者と調整してまいります。

総括質疑

# 柔軟な行政組織体制は 町長：組織横断型の担当課だけでない業務執行



舟山政男 議員

### 柔軟な行政組織の体制とは

**問** 第5次飯豊町行財政改革大綱に基づき無駄を省き、事務の生産性を上げるための柔軟な行政組織を構築し、健全な財政基盤づくりに努めるとあります。具体的にどのような体制を考えておられるのか、またそれに伴う予算編成の考え方を伺います。

**町長** 第5次行財政改革大綱では、住民や多様な団体との協働体制づくり、無駄を省き事務の生産性を挙げるための柔軟な行政組織づくり、施策を着実に実

行するための健全な財政基盤づくりの3つの視点で取り組みを進めています。今後の社会

情勢の変化を予測しながら担当課だけではない組織横断型のプロジェクトチームによる業務執行を行っています。

また内容によっては庁内調整委員会や課題別検討委員会を設置して事務執行を進めており、柔軟な行政組織の構築は、予算措置を伴わない手法もあります。

### 高齢者支援については

**問** 今冬は高齢者にとって特に大変でした。老人世帯除雪対策について、地域安全克服方針の策定を進めるとは

具体的にどのようなようにお考えでしょうか。

高齢者の医療、介護のためにもDX【最新のデジタル技術の駆使】が重要になると思われますがこれについて伺います。

**町長** 国の補助事業である「豪雪地帯安全確保緊急対策事業」に取り組んでまいります。具体的には高齢者宅や地域における除雪課題の把握等、様々な意見に耳を傾けながら事業を推進します。

DXについて、医療や介護を必要としている方が精神的にも肉体的にも安心してサービスを受けることができよう、デジタル化をバランスよく取り入れながら利用者の立場に立ったサービスの向上に努めてまいります。

### 住民と行政の積極的な交流は

**問** 住民と行政の積極的な交流について伺います。

**町長** 現在準備を進めている農村計画研究所でのまちづくり講座やいいで未来カフェでのワークショップを通して、これまで以上に幅広い年代層との交流を深め、人材の育成に取り組んでまいります。考えております。

### 「飯豊電池バレー構想」について

**問** 平成26年度以降、巨額の投資を行い進めています。今後の取り組みについて伺います。

**町長** 農村の新たな価値の創出を目指し「雇

用の創出」「交流人口の拡大」「人材育成」を三つの柱に掲げ、地域の産業振興、町内経済の活性化に向け取り組んでまいりました。先日公表した「静岡大学浜松次世代パワーメカトロニクス研究所」からの連携協定打診について、早期の連携協定に向け協議を進めているところですので。



飯豊町企業支援施設



一般質問

## 町政を問う

## 5人の議員が質問に立つ

氏名	質問事項	ページ
1. 議席番号5番 高橋 勝 議員議席	公共施設における遊休施設の今後の見通しを明確に	P 7
2. 席番号4番 遠藤 芳昭 議員	①コロナウイルスの感染の影響について ②高齢者世帯の除雪支援等について ③まちづくりセンターの現状と今後の課題について	P 8
3. 番号2番 屋嶋 雅一 議員議	行政による地元企業支援と連携強化を	P 9
4. 議席番号7番 高橋 亨一 議員	持続可能な水田農業の確立とめざす姿は	P 10
5. 議席番号3番 舟山 政男 議員	農村計画研究所の再興プロジェクトとこれからの町農業について問う	P 11
6. 議席番号1番 川崎 祐次郎 議員	①子宮頸がんワクチンへの対応について ②保育の無償化への対応と総合的な子育て支援について ③教育現場でのICT（情報通信技術）活用の拡大策について	P 12

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。  
また、質問内容は、要約した記事となっています。



議会傍聴においでください

次回の定例会は**6月**です。お気軽にどうぞ。  
電話 0238(87)0527 議会事務局

一般質問

# 公共施設において遊休となっている施設の今後は 町長：地域とともに利活用の可能性を探る



高橋 勝 議員

遊休となっている施設の今後の見通しは

地域とともに利活用の可能性を探っていく

質問

①旧中津川小学校について、「農村計画研究所など」と、定例会で答弁されているが、その後の経過は。②ホテルフォレストについて、「民間会社が令和5年4月の開業を目指す」と報告されているが、開業までのスケジュールは。③手ノ子幼稚園（令和4年度休園）・添川児童センター（年長児のみ7名）について、令和5年度以降の運営方針は。

町長

①今のところ農村計画研究所の拠点として活用する予定はないとお伝えしています。

地域が利活用に踏み切れない理由は、財源確保と責任者の明確化です。今後も地域とともに利活用の可能性を探っていきます。

②「今年の夏から施設の整備を始めた」「指定管理者としてではなく、賃貸借契約で契約期間は10年以上」を希望されています。町の財政負担も少ないことから、民間会社の意向に沿って、進めていきます。

教育長 ③町の出生数が30名前後で推移していることから、「閉園」を検討していきます。今後、両施設のあり方をそれぞれの地域の方々と協議する場を設けていきます。



休園中の手ノ子幼稚園

「大したもんだプロジェクト」の来年度の取り組みは

質問

今年度が取り組み初年度の「大したもんだプロジェクト」。

学校教育と社会教育のそれぞれの実績と、来年度に向けた取り組みは。

地域や学校との連携を強化

教育長 「算数・数学検定、英検ジュニア」を2回実施し、30名と27名の参加。また、中地区でのまち歩きワークショップ「めぐせ！いいでの物語達人」には11名の参加でした。来年度は他地区での開催を予定し、地区まちづくりセンターや学校運営協議会の活動として、地域が主体となる仕組みを構築していきます。

「地域支え合い除雪事業」に参加する組織への今後の対応は

質問

組織によって差

はあるものの、「構成員不足」との話や、「宅道除雪はこれ以上の件数は対応し切れない」との悲鳴も上がっています。

新たな組織の育成などを行うことが重要

町長 実際には作業される人員が不足しており負担が大きくなっているという声も聞き取っております。この課題の解決に向け、国に対し「豪雪地帯安全確保緊急対策事業」の申請を行い、内示を受けました。この事業を活用しながら、高齢者や地域の皆様の声に耳を傾け、地域除雪隊の意見や先駆的な支え合い除雪の事例も参考にさせていいただきながら、新たな除雪支援のあり方について検討を行ってまいります。

(本人執筆)

一般質問

# 除雪支援組織の育成を 町長：新たな除雪支援の仕組みを検討



遠藤 芳昭 議員

### コロナ対策

**第6波の影響と今後の  
商工業支援策は**

**質問** 国内ではコロナウイルス第6波が蔓延し、町内でもクラスターが発生している。商工業や観光業への影響とその対策は？

**町民生活と経済を  
守る施策をすすめる**

**町長** 宿泊施設は1月下旬以降の予約キャンセルが相次ぎ、飲食店は平日の客は期待できないとの報告があり、テイクアウトやデリバリーなどの施策を講じています。誘客や経済が停滞しないよう取り組んでまいります。

### 除雪支援組織

**高齢者世帯への  
除雪支援の状況は**

**質問** 今冬は降雪量も多く、高齢者世帯は除雪に難儀している。町の支援状況は？

**ヘルパー派遣や除雪費  
補助等で支援している**

**町長** 65歳以上で一定の条件を満たす高齢者には、除雪ヘルパー派遣や除雪費の補助、宅道除雪支援などを行っています。

**地域で高齢者世帯を  
支える組織づくりを**

**再質問** 地域では若者の減少などで、高齢者を支えてくれる組織や

**除雪支援組織の育  
成に取り組みたい**

団体が極めて少なくなっている。除雪を支援する組織を育成する必要があるのではないかと。町長 現在の除雪支援だけでは十分とは言えない状況であると思います。除雪支援組織の育成については、今後一定の予算をもって対応しなければならぬと思っております。

**新たな事業とは**

**再質問** 高齢者を支える仕組みづくりを行うのか。

**除雪支援組織につ  
いて調査する**

**健康福祉課長** 今年は「豪雪地帯安全確保緊急対策事業」の取り組みを行います。多くの団体から状況を聞き取りながら支援についての検討をしていきます。



除雪支援組織の仕組みづくりを急ぐ必要がある (写真は今冬のNPO法人の活動)

**まちづくりセンター**

**地域の課題解決に  
取り組む仕組みを**

**質問** 各地区の課題や困りごとの中に住民だけでは解決できないこともたくさんあり、そこにまちづくりセンターの仕事があると思う。地域の課題の解決に向けて、住民とともに取り組む仕組みを、早急に構築する必要があるのではないかと。

**不安のないまちづく  
りのためのセン  
ターとしたい**

**町長** 住民から「今後の生活に不安がある」との声も聞いています。いつまでも不安や心配なく住み続けることができるまちづくりのために機能しなければならぬと考えています。

(本人執筆)



一般質問

# 行政による地元企業支援と連携強化は 町長：後継者不在などの事業継承支援は 支援センター窓口と連携



屋嶋雅一 議員

### 後継者不在による 事業継承の推進は

**質問** 経営者の高齢化や後継者不足が進み、後継者不在により継続困難な商店や企業が増加している。

第5次総合計画では、商工会と連携しながら事業継承を推進していくとあるが、どのように推進していくのか。

### 事業承継引継支援セ ンター窓口と連携

**町長** 経営発達支援計画を策定し、経済産業大臣宛てに共同計画の認定申請中です。商工会経営指導員が企業の実態把握を行い、後継者不在などの課題を把握した場合は、第三者

承継も視野に県企業振興公社の事業承継引継支援センター窓口と連携し対応していきます。

### SDGsやゼロカ ーボンに取り組む 企業支援を

**質問** SDGsやゼロカーボンの取り組みは、小企業や個人事業者にとって何をすればいいのか戸惑うのが現状。こうした企業への支援が必要と思うが。

### 多様な主体を巻き込 みSDGsを加速化

**町長** 山形大学と連携し多様な主体から成る協議会の設立、地域おこし協力隊の出前講座など、連携・連動により具体的にSDGsが

実践されるよう積極的に働き掛けてまいります。

### 外国人労働者への 住まいと送迎支援を

**質問** 町内企業の問題の一つに、従業員を募集しても集まらないということがある。その解決策に外国人労働者の雇用があり、今後増加すると考えられることから、外国人労働者への住まいや送迎の支援が必要では。

### 民間企業や関係機関と 連携し環境を構築

**町長** 町内企業の製造業、建設業において人材不足に悩む事業所が多いものと認識しております。外国人労働者を今まで以上に雇用し

ていくことは、本町企業においても例外ではありません。そうしたときの住まいや送迎については、行政だけでなく解決できる課題でないことから、民間企業や関係機関と連携し、本町において安心して就業できる環境を構築してまいります。

### まん延防止対象外の 小企業にも支援要請を

**質問** コロナまん延防止の対象地域のみ補助

があるが、対象外の地域も自粛ムードにより客足が減少する。又、企業にとっても同じ。対象外であっても、県からの支援が必要。町からも県へ支援要請をすべき。

### 今後も支援要請

**町長** 今後県内でまん延防止が発令されたときは、支援要請をしたと思います。

### 企業誘致の考えは

**質問** 今後企業誘致の考えはあるか。

### まずは既存企業と 共に歩みます

**町長** 町内企業には町民の生活や町を支えていただいています。新分野に進出の企業支援や企業誘致も推進しながら、既存企業を1社も失うことなく、共に歩みます。(本人執筆)



町内で働く海外からの実習生

一般質問

# 持続可能な水田農業の確立と目指す姿は 町長：飯豊版地域循環共生型農業を



高橋 亨一 議員

**基幹産業である  
農業の目指す姿は**

**質問** 令和4年度から転作地に、水張りが出来ない農地、5年間に一度も水稲を作付けない農地などは、国からの交付対象水田から除外されて交付金が減少します。

令和4年度に耕作面積の約半分を転作しなければならぬ農家は、農地を守り農業を続けて行けるのか戸惑っています。  
町は持続可能な農業の目指す姿は。

**農業環境の  
多面的な活用で**

町長 令和4年度の「水

します。

**米沢牛農家の  
支援は**

**質問** 米沢牛の4割を生産している肥育農家と子牛の繁殖農家を守る上、地域に合った取り組みに町の支援は。

**耕畜連携で**

資源循環型農業の推進と、バイオマス発電振興の液肥と有機堆肥の活用した飯豊版地域循環共生型農業を進めます。  
また、農産物加工を活用した6次産業化にも取り組み、持続可能な飯豊町の農業を目指します。  
町長 輸入濃厚飼料の高騰もあり、飼料用米やWCS（ホールクロップサイレージ）等の新規需要米や高収益作物を推進し、耕畜連携の農業を進めます。

**飼料作物に代わる  
品目は**

**質問** 町は飼料作物に代る「子実トウモロコシ」の支援を考えているようだが、実需者と刈取機等の課題について、対応は。

**子実用トウモロコシで**

町長 振興作物の飼料作物に変えて、作業時間が少なく、省力栽培可能な「子実用トウモロコシ」の導入については、作業請負組織（コントラクター）を設立し、生産・利用拡大を図っていきます。

**除外された農地の  
取り扱い**

**質問** 今後、交付除外された農地や山林化した農地は山林にかえすとの声もあるが、町の判断は。

**農地として活用を**

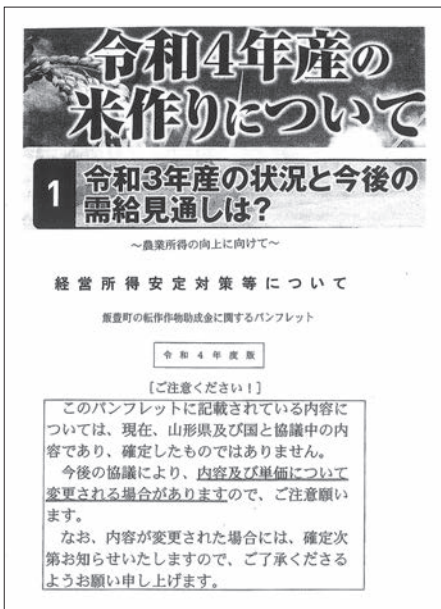
町長 管理されていない水田は、地目変更も可能と思われます。町としては、農地として活用してほしいと考えています。

**若者の転出防止に  
奨学資金貸与制度  
はあるのか**

**質問** 若者の減少が急速に進んでいる。転出防止対策に、奨学資金貸与制度は。

**返済免除制度がある**

町長 町と県が合同で積み立てている奨学資金貸与制度で、県内に戻る方の返済免除等の制度があります。  
(本人執筆)



令和4年度米作パンフレット



一般質問

# 「農村計画研究所」の再興プロジェクトは 町長：農村の新たな価値の創出と人材育成



舟山 政男 議員

「農村計画研究所」の再興プロジェクトは

「質問」 「農村計画研究所」の再興プロジェクトが本格的に動き出すことについては。

3年目以降の法人化を目指す

町長 研究所は1985年に設置されましたが活動は休止し現在に至っています。来年度から概ね2年間は町営で活動し3年目以降の法人化を目指しています。

目指すことは

再質問 飯豊で幸せになることについては。

若い人たちを応援する

町長 日々の生活において、都市にも農村にも幸せはありそれぞれを補完する。農村で人材等の供給をして社会発展の産業構造を築いた在り方ではない、という逆転の発想が、青木史郎先生の考えであった。いまはコロナの時代であり若者が農村に目を向けている。皆でこれからの農村について考えるそのことを応援したい。

総合的な農業の在り方は

「質問」 昨年の米価下落は農家に大きな影響がありました。町の総合的な農業については。

農業には重要な役割がある

町長 米価下落に対する支援として、県では10アール当たり千円町では10アール当たり2千円の支援を行いました。また農業経営に係る資金面におきましても「令和3年の米価下落対策資金」、「令和3年、生産資材等高騰緊急対策資金」を発動し、無利子、または低金利での融資に取り組みました。

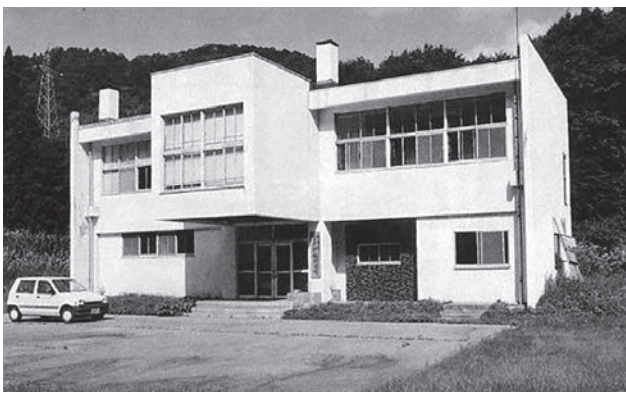
今後の総合的な本町農業の在り方については、耕畜連携による資源循環・環境配慮型の農業や、地産地消などの持続可能な農業が、農地の保全の観点からも欠かせないものと思われまます。

プロジェクトチーム編成については

再質問 色々な課題、相談に対応する様々な方で構成するプロジェクトチームを作ることについては。

ぜひ検討していきたい

町長 中山間農業の事業承継、継続的な多面的経営の構築であるとか課題は山積していま



昭和59年当時の旧「飯豊農村計画研究所」

す。「農村計画研究所」の中で、多くのことを考えていきたいと思えます。

町職員の農業体験については

「質問」 町民との交流を図り、理解を深めるためにも、異業種である春の農作業体験などは。

検討していきたい

町長 農業体験だけでなく、林業、介護、幼児施設での保育体験などは職員経験値をあげるものと考ええます。地域を深く知るためにも、人材育成のために検討してまいります。  
(本人執筆)

一般質問

# 子宮頸がんワクチンの接種、保育の無償化及び教育現場でのICT (情報通信技術) 活用の拡大策

## 町長：安心して子育てできるように支援を展開



川崎 祐次郎 議員

### 子宮頸がんワクチンへの対応について

**質問** 子宮頸がんワクチンについては、疼痛や運動障害などの副反応があり、国は積極的な推奨をこれまで差し控えてきた。しかし、厚生労働省は、令和3年11月に「ワクチン接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回る」との文書を自治体宛に通知した。今後の子宮頸がんワクチン接種に対する町の対応は、いかに。

### 安心してワクチン接種できるような対応

**町長** 子宮頸がんワクチンについては、国からの勧告により、積極的な勧奨を控えてきました。定期接種となっ

た平成25年以降の接種対象者324名の内、319名（平成9年生まれ〜平成17年生まれ（25歳〜17歳）が未接種となつています。令和4年度中に12歳〜16歳に到達する女子に対し、個別通知を行います。定期接種の対象者であった319名の未接種者に対し、新たに個別通知を行い医療機関と調整し、ワクチン接種費用の全額を町で負担します。

### 保育の無償化と子育て支援策について

**質問** 「保育の無償化」については、消費税率が10%に改定された2019年（令和元年）10月から実施するため、平成29年12月に「新しい経済政策パッケージ」

の「ひとつとして閣議決定された。実施にあつては遅きに失した感はあるが子育て世帯にとつて非常に喜ばしいニュースだ。国は段階的に実施する方向だが近隣の市町では、独自の財源活用により、早期に無償化を推進する動きがある。町は、保育だけでなく、幼児教育の無償化も含め、総合的な子育て支援策を早期に進める考えはないのか。

### 支援が必要だと思っています

**町長** 近年の町の出生数は30人前後で、少子化傾向が顕著です。子育てに関する様々な支援が必要だと思います。すべての人が安心して子育てできるように企業などとも連携した支援を展開し、経済格差によるしわ寄せが子育て家庭に及ばないよう支援を進めます。

**教育長** 保育料は、3歳以上児のすべて、3歳未満児で生活保護・町民税非課税世帯及び第3子以降については無償となっています。昨年9月から3歳未満児がいる世帯で町民税が9万7千円未満の場合、保育料の二分の一の補助を行っており、この世帯については、令和4年度から保育料を無償とします。

### ICT (情報通信技術) 活用の拡大策について

**質問** 令和3年4月から国のGIGAスクール構想により、情報通信技術を活用した学習が開始され、2年目を迎える。今後は、それぞれの市町村におけるICT利活用の在り方や教育現場、家庭での活用方法が問われることになる。新型コロナウイルス感染症での休校時の対応だけでなく、

### 学校間で活用格差が無いよう取り組む

「オンライン希望塾」などへの活用拡大策の考えはないのか。

**教育長** タブレット端末同士がつながり、クラス全員で情報共有でき、臨時休業の際、オンラインで顔を見ながら健康観察ができるようになりました。人工知能を搭載した学習ソフトを年度当初から導入しており、小学校から中学・高校までの主要科目の問題が備わっています。各学校からは、子どもたちにも好評で意欲的に取り組んでいるとの報告を受けています。教員への研修を重ね、効果的拡大活用を学び、学校間で格差が生じないように取り組んでまいります。

(本人執筆)



## 公開します！議員の賛否！

## 令和4年3月定例会で審議した主な議案とその結果

上程された議案・概要	賛成	反対
補正予算の専決処分の承認	8	0
条例の設定・条例の廃止・条例の一部改正		
・(設定) 行政手続きにおける押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	8	0
・(廃止) 飯豊町行政不服審査法施行条例 ・(廃止) 飯豊町保育所設置条例（※つばき保育園が認定こども園に改正されたため）	8	0
・(一部改正) 飯豊町個人情報保護条例、飯豊町固定資産評価審査委員会条例、飯豊町職員の勤務時間・休暇等に関する条例、飯豊町職員の育児休業等に関する条例、飯豊町幼保連携型認定こども園設置条例、飯豊町特別職の職員の給与に関する条例、飯豊町一般職の職員の給与に関する条例、飯豊町国民健康保険税条例、飯豊町起業支援施設条例、飯豊町道路占用料徴収条例、飯豊町定住促進住宅管理条例 以上11件	8	0
予 算		
・令和3年度飯豊町一般会計補正予算（第13号）	8	0
・令和3年度飯豊町特別会計補正予算（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、訪問看護、介護老人保健施設、下水道事業、財産区（萩生/豊原/添川/中津川））	8	0
・令和3年度飯豊町水道事業会計補正予算	8	0
工事請負契約の変更		
・令和3年度飯豊町役場庁舎非常用発動発電設備整備工事	8	0
・令和3年度社会資本整備総合交付金事業 町道南館深淵線ほか道路改良工事	8	0
計画書の策定		
・飯豊町国土利用計画	8	0
規約の制定、一部変更		
・飯豊町と山形県との間の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の権限に属させられた事項を処理する事務の委託に関する規約の制定	8	0
・置賜広域行政事務組合理約の一部変更	8	0
予 算		
・令和4年度飯豊町一般会計予算	8	0
・令和4年度飯豊町特別会計予算（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、訪問看護、介護老人保健施設、下水道事業、財産区（萩生/豊原/添川/豊川/中津川））	8	0
・令和4年度飯豊町水道事業会計予算	8	0
人 事		
・副町長の選任	8	0
・教育長の任命	8	0
・中津川財産区管理会委員の選任	8	0
・人権擁護委員の候補者の推薦	8	0

※採決は議長を除く。 ※記載の順序は、議案提案及び採決の順序による。

## 総務文教 所管分

# 「す」を大規模改修 今年度は3億円(2カ年計画)



予算特別委員長

高橋 亨 一

令和4年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計合わせて13件について、予算特別委員会（委員長高橋亨一委員、副委員長後藤恵一郎委員）を設置し、3月8日9日の2日間にわたる審査にて、いずれも可決すべきものと決しました。新年度の大きな事業として、2カ年工事となる町民総合センターの施設や設備の大規模改修があげられます。施設利用に一部制約があることですが、町民の活動に支障のないよう配慮した工程をお願いしたいものです。

### 一 般 会 計

【質問】高橋(勝)委員

起業型地域おこし協力隊の募集を業務委託で行う内容は、

また、地域おこし協力隊活動補助金の内容は、

【企画課長】現在、ミッシン型の隊員が4名います。令和5年度から起業型協力隊員を採用するため、募集説明

会、ヒアリング、おためしインターンツアー等を計画しています。

また、活動補助金の内容は、2名の隊員が令和4年度から現在のミッシン型から起業型への変更に伴い会計年度任用職員から個人事業主になりますので人件費の分は報償費で活動費の分は補助金で

支払うこととなります。

【質問】屋嶋委員

行政事務情報化等業務委託の内容は、

また、デジタル人材育成についてはどのような取り組みなのか。

【企画課長】委託内容は行政システム運用管理支援と情報セキュリティの強化です。現在庁舎内のネットワーク

は仮想3系統で運用しています。このネットワークを単独の3系統に改修し、平成27年度に導入した機器を更新して、県が令和5年1月に開始するクラウドネットワークに対応するための内容です。

また、デジタル人材育成は、昨年10月に情報化推進委員会を設置し、今後のデジタル化推進の取組みの中で人材育成を図っていきます。

【質問】舟山委員

消防団員の処遇について、国(消防庁)は年額報酬36500円、出勤手当1日当り8000円とする基準が示されているが、その内容は予算に盛り込まれているのか。

また、報酬等の支給はどのようにしているのか。



新入団員を迎えて(辞令交付式)



# 予算特別 委員会

## 開館から30年以上経過

# 町民総合センター「あ

## 総額7億7000万円予定

**総務課長** 団員報酬は

4年前に年額200000円に改正しており、4年度は、出動手当を2時間以内20000円

4時間以内40000円4時間以上80000円の支給に改正します。

また、報酬等の支給は団員個人毎に支給しています。

**質問** 遠藤委員

農村計画研究所の施設、今後の活動方針と町づくりセンターとの関係はどうなっていくのか。

また、研究所の組織体制づくりはどうするのか。

**企画課長** 現在、条例

上は高峰の大鹿分校跡地になっており、今後は公有遊休施設等を検討していきます。

活動方針は4年度前半に①人材育成②コンサルティング事業③研

修部門を構成し、町づくりセンターとはコン

サルティング事業で地域課題の解決等で連携します。

また、組織体制は、理事会、運営委員会、専門委員会を設置し、

2年間は直営で運営しその後は一般社団法人やNPO法人等での運営を考えています。

**質問** 遠藤委員

児童保育料が前年度より180万円増えている内容は。

**教育総務課長** 30人ほどの利用者の増加が見込まれています。

**質問** 古山委員

読み聞かせ推進活動委託料10万円は活動実績に対して適切な予算になっているのか。

**社会教育課長** この事業は、町内のボランティア団体「あすま

います。現在構成員は16人、活動実績は年間

各幼児施設10回程度、小学校4校で50〜60回、

中学校ではブックトークを3回行っています。

以前はボランティア活動でしたが、平成30年度から委託事業としていきます。

**質問** 川崎委員

デジタル推進の予算が大きいのが町民の利便性の向上はどのように図られ、町民が実感できるようなデジタル化推進事業なのか。

**企画課長** 新年度のデジタル化推進事業は、主に庁舎内ネットワークの強化です。

デジタル化を活用し

医療・介護関係、GIGAスクール教育関係

防災、農業関係において町民の皆さんが利便性を感じることができ

るように推進していきます。

**質問** 後藤委員

デマンド交通運行事業費が毎年増額になっている。公共交通運行事業との関連は。

**住民課長** デマンド交通利用者は毎年1〜

1・5人減少しています。本町では、デマ

ンド交通に特化した運行委員会を設置していま

すが県の公共交通計画に伴い、山形交通、JRと共に公共交通のあり方を検討する事業で



豊かな心を育むために（読み聞かせ）

## 産業厚生 所管分

# の再活用を予定

【質問】 高橋(勝)委員

フォレストいいでの  
今後は。

**観光交流室長** グランピングを全国に展開する株式会社ダイブ（本社・東京都新宿区）が令和5年春から事業の開始を希望しています。年度の途中で町との賃貸借契約が結ばれた場合は、各種手続き、協議が整い次第、指定管理者との委託契約の変更を行います。

※グランピングⅡ  
テント設営や食事の準備などのわずらわしさから、旅行者を解放した贅沢にアウトドアを楽しむ新しいリゾートスタイルのこと。



再活用予定のフォレストいいで

グランピング(イメージ)



【質問】 遠藤委員

電池バレー人材育成委託事業として2500万円を予定しているが、令和3年度に執行できなかった同じ事業費3200万円を4年度に繰り越しており、総額5700万円となる。電池バレー構想に

関して町はどのような人材を育成するのか、委託予定先と内容は。

**商工観光課長** 人材育成事業の委託先についてはプロポーザルで公募し決定する予定です。**産業連携室長** 委託内容は、町内企業との交流の拡大を図り、町の発展に寄与してもらえる商品の開発を担える人材を育成することを予定しています。

市町村を結ぶ道路は

県が整備、県と県を結ぶ道路は国が整備すべきと考えています。これまで県に重要要望を行っています。今後は喜多方市と連携して、国、県へ訴えていく取り組みをしていきます。

【質問】 屋嶋委員

有害鳥獣被害対策事業は、昨年より255万5千円の減額となっている理由は。

【質問】 川崎委員

飯豊桧枝岐線のり面改良工事5200万円の財源内訳は。県境の林道なので町で管理すべき事業でないのではないか。

**農林振興室長** 5000

0万円が補助対象、国が50%、県が4%、町が46%の負担割合です。

**農林振興室長** 10ヘクタールを網羅する広域の電気柵設置を町単独で行う予定でしたが、国庫事業（鳥獣被害防止総合対策交付金）の採択を受けたため、町の持ち出し分が減額となったものです。



# 令和5年春から 「フォレストいいで」

## 質問 舟山委員

園芸作物産地化推進  
支援事業2365万円  
の内容は。

## 農業振興室長

町単独事業の果樹生  
産振興支援事業、アス  
パラ産地拡大推進事業、  
県の魅力ある園芸山形  
所得向上支援補助金の  
3事業があります。苗  
木、種子、資材、機械  
の経費などの補助を受  
けることができます。  
花木については、県  
と確認をします。

## 質問 古山委員

畜産振興費の中の原  
材料費として115万  
円計上されているが内  
容は。

## 農業振興課長

有機肥  
料センターエコプラ  
ントめざみで肥料を作る  
際、酪農牛糞だと水分

が高く効率よく発酵で  
きないので、効率よく  
発酵するための資材で  
す。

## 質問 後藤委員

児童発達支援施設開  
設事業費が当初の3千  
万円から9千万円にな  
った経過と内容は。

## 健康福祉課長

補助先  
の長井市の法人では、  
当初空き家の利用も考  
えていましたが、協議  
の結果323㎡の施設  
を新築して  
事業を行い  
たいとの要  
望がありま  
したので、  
補助金の上  
限として  
9千万円を  
予算計上し  
ました。

## 特別会計

## 質問 屋嶋委員

農業集落排水事業・  
新規加入分岐工事5  
60万円について、利  
用者増加が想定される  
がこれについては。

## 上下水道室長

今年度  
は6件ないし8件を見  
込んでいます。追加の  
申し込みがあれば補正  
予算での対応を考えて  
います。

## 質問 舟山委員

水道老朽管布設替え  
工事の更新状況につい  
ては。

## 上下水道室長

水道管  
の町内全域の延長は、  
導水管、送水管、排水  
管すべて含めて163  
キロメートルとなつて  
います。耐用年数40年  
を超えた物は約30キロ  
メートルあり、全体の  
18%にあたります。現  
在水道台帳システムの  
導入に向けて整備中  
です。

黒沢の深淵地区を予定  
しています。その他突  
発的な工事発生時の予  
算を確保しています。

## 質問 後藤委員

中浄水場での通年通  
水は当初3年での話  
であったが、どのよう  
な状況になっているの  
か。

## 上下水道室長

現在は  
6月から10月までの通  
水となっています。  
町長 通年通水につい  
ては、長井市小坂の住  
民の皆さんと引き続き  
協議してまいります。



エコプラントめざみ

質問 古山委員  
水道老朽管布設替え  
工事1500万円の積  
算根拠は。  
上下水道室長  
本年予定している手  
ノ子駅前、添川の大胆、



## 町の課題解決に響けた行政運営に期待

# 副町長人事案に全議員同意

### 人事



●副町長

高橋 弘之

大字椿4486番地  
(昭和43年2月15日)  
(前企画課長)



●教育委員会教育長

熊野 昌昭

大字手ノ子  
1733番地の3  
(昭和27年7月5日)  
(再任)

●中津川財産区  
管理会委員

五十嵐 文雄

大字白川67番地  
(昭和19年11月30日)

高橋 憲策

大字高造路  
123番地  
(昭和22年9月1日)

伊藤 重徳

大字下屋地  
134番地4  
(昭和24年3月25日)

中村 輝一

大字遅谷  
126番地  
127番地  
128番地  
(昭和29年2月23日)

高橋 亮

大字白川  
309番地  
(昭和29年7月13日)

丸山 茂

大字小屋427番地  
(昭和33年3月29日)

鈴木 泉

大字上原429番地  
(昭和36年1月21日)

●人権擁護委員

高橋 敏夫

大字高峰3181番地  
(昭和26年5月17日)

### 発議

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

提案理由

ロシアにおけるウクライナへの侵略、武力行使は断じて許すことのできない暴挙であり、飯豊町議会として断固抗議するため提案するものである。

### 決議文

ロシアは去る2月24日に、国際社会の度重なる警告を無視してウクライナへの軍事侵攻を開始し、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。

このことは、明白な国連憲法と国際法違反であり断じて許すことのできない暴挙である。

現在は核の力を背景に、国際社会の安全を一層脅かすばかりか、原子力発電施設への砲撃など、あるまじき軍事行動は言語道断である。

ここに飯豊町議会は、世界で唯一の被爆国の国民として、ロシアに対し武力行使の即時停止と、ウクライナ領土から全ての軍隊を完全かつ無条件で撤退させることを求めるものである。以上決議する。

新型コロナウイルス感染症の取り扱いを指定感染症二類相当から五類感染症に引き下げることを求める意見書提出についての請願

この請願は、閉会中の継続審査とすることといたしました。

### 第一回臨時会

令和4年1月12日臨時会が開催され、一般会計補正予算1件の審議を行いました。

内容は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金6891万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を72億5163万6千円となりました。

# 高規格道路飯豊区間は 小白川の道路は

## 「国・県の道路行政を学ぶ」

## 議会自主研修会



講演する橋本所長

【講演要旨】 新潟山形南部連絡道路（全長約80km）の進捗状況は、梨郷道路（7・2km工事中）は令和5年度開通予定、小国道路（12・7km）は調査・設計中です。飯豊町区間については町や議会より早期

### 新潟山形南部連絡道路等について

山形河川国道事務所  
所長 橋本裕樹氏

町議会では1月7日(金)、町民総合センターにおいて、国土交通省並びに山形県より講師をお招きし、自主研修会を開催しました。研修会では、本町に関係ある道路事業を中心に、講演いただきました。当日は町幹部職員はじめ町民約30名の方にもご聴講いただきました。

### 小白川道路改修今後本格事業化

置賜総合支庁建設部  
次長 阿部真一氏

着工の要望を受けていますが、事業化には至っていません。

### 【講演要旨】

国道287号米沢北バイパス、と川西バイパスの工事が進んでいます。飯豊町町内では長井飯豊線手ノ子工区が10年かけて9月に完成しました。要望のある小白川隘路については、今年度準備設計を行い、ルートを決定し、来年度からの本格的な事業化にむけて予算要求をします。

## きれいになった校舎

### 飯豊中学校大規模改修

総務文教常任委員会



総務文教常任委員会では、1月21日(金)所管事務調査として、飯豊中学校の大規模改修工事の完了状況及び一人一台のタブレット端末の導入状況について確認しました。校舎は平成2年に建設され築後約30年経過しており、部分的に老朽化が著しく、3カ年かけて改修

工事を実施したものです。主な内容は屋根や外壁のふき替え、エレベータ設置やトイレ改修、体育館の床修繕、屋内グラウンドの人口芝化などです。また、タブレットを使った授業では、インターネットで瞬時に情報が共有されており、授業の内容に驚きました。



体育館の床がきれいに



タブレットでの授業

## 表彰

### 山形県町村議会

議長会表彰

○菅野富士雄議長

山形県町村議会議長会会長としての功勞表彰  
令和3年11月18日

### 全国町村議会

議長会表彰

○後藤恵一郎議員

山形県町村議会議長会会長としての功勞表彰  
令和4年2月8日





# 消防団員の 出勤手当で見直しへ

## 総務文教常任委員会

### 各課からの報告

#### ● 税務会計課

◆ 町県民税の申告相談は、3月15日まで対応していきます。

#### ● 企画課

◆ 地域づくり報告会

3月12日(土)

◆ 地域おこし協力隊活動報告会

3月13日(日)

◆ 第4回飯豊町むらづくり講座

3月19日(土)

◆ いいで未来カフェ発表会(日程調整中)

4月23日(土)

#### ● 住民課

◆ 町内での令和3年における交通事故発生件数は、10件です。

◆ マイナンバーカードの最新発行件数は3414枚で交付率が50.0%となっています。

#### ● 教育総務課

◆ いいで希望塾の小学校6年生対象体験塾

3月26・27日 (土・日)

◆ 大したもんだプロジェクトの主な取り組み

① 算数・数学検定

12月と2回の実施で

延べ54名が挑戦し、合格率90%でした。

② いいでの物語り達人10月に小学生11名参加で開催。「田園散居」のナゾと「お獅子様」を調査しました。

#### ● 社会教育課

◆ 5月29日開催予定の第40回全国白川ダム湖畔マラソン大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、定員を設け上限800名として開催することになりました。

### 質問と答弁

後藤委員 消防団員の定数と実数は。また処遇改善の状況は。

※他に、定住促進調査・休校中のタブレット活用などを質問。

総務課長 定数450名で実数は414名

(機能別団員含む)です。現状一回出勤につき2000円ですが、出勤

手当は時間によって単価を変えるように調整中です。

遠藤委員 令和2年度に、バイオマス施設の

実施設計業務委託が行われているが、今後の進め方は。

※他に、地域づくり座談会の回答方法・総合体育大会の参加促進などを質問。

企画課長 添川温泉し

らさぎ荘にチップボイラ設置を進めてきました

が、財政状況が厳しいことから、町直接の事業としては中断しています。なお、民間活力での事業実施を検討中です。

古山委員 スワンパークでは、秋から春にかけて鳥のフン、夏はゴミの散乱が見受けられる。管理はどのようになっているのか。

※他に、子ども議会開催などを質問。

社会教育課長 夏場は、町グラウンドゴルフ協会

に管理委託しています。冬のみ町が管理を行っています。通年の見回りも行っています。

菅野委員 職員採用について、人員の確保は十分か。

※他に、小学校再編などを質問。

総務課長 今年度は合計8名の内定者です。

保育職は職員構成などもあり、ここ数年は毎年の採用になっています。

高橋(亨)委員 閉園予定の手ノ子・添川の幼児施設について、地域との話し合いはいつ頃か。

※他に、幼児施設の閉園後の活用などを質問。

熊野教育長 令和4年度の早い時期に行いたいと考えています。



団員確保は急務

# 令和4年度農地参考賃借料

# 産業厚生常任委員会

# 水田1級地12,500円/10a

## 各課からの報告

## 質問と答弁

### ●農林振興課

◆令和4年度から国の経営所得安定対策事業等の申請は、パソコンやスマートフォンを活用した農林水産省共通申請サービスでの運用を開始します。

◆経営所得安定対策等に係る現地確認を令和4年度から生産組合に業務委託したいと考えています。

◆令和4年度農地参考賃借料は、人口減少、コストの消費量の減少、米価の大幅下落など農業情勢を踏まえて、見直しを行いました。一覧表は後日全戸配布します。

### ●商工観光課

◆冬の飯豊E.Vフェスタを3月6日、専門職大学の敷地内で実施します。

◆地域おこし協力隊活動報告会を3月13日に町民総合センター「あ

す」で行ないます。

◆飯豊町旬祭×高円寺ハーヴェストを3月16日に中部地区公民館で行ないます。

◆飯豊町飲食店利用促進支援事業を3月13日まで期間延長します。

◆屋台村オーナーを募集しましたが、現在も応募がありません。

### ●地域整備課

◆主要地方道長井飯豊線小白川工区の改良計画に関する地元説明会が3月4日に開催されます。

◆中津川橋の本復旧工事概要の地元説明会が3月17日に開催されます。

### ●健康福祉課

◆接種3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を進めています。

5〜11歳までの小児接種を3月26日から実施する計画です。

屋嶋委員 道の駅東側に設置予定のコンビニ

が白紙になった後、再度設置検討が進んでいるとの話だったが、現状は。

### 産業連携室長

ローソンとめざみの里物産館とでフランチャイズ契約を3月中旬頃取り交わす予定です。ゴールデンウィーク明けに工事を開始し、オープンは早ければ7月中旬頃と聞いています。

### 古山委員

新たに移住された方への水道、下水道の対応に問題があると思うが。

### 上下水道室長

ライフラインの対応は、新規設置で農集排エリアの場合、不便をお掛けしますが、農集処理場設置及び管理条例にそ

つての対応となります。

### 舟山委員

つばき保育園の玄關脇の除雪だが、ハンドガイドが入らず手作業となり、しかも一人作業となつて危険と思うが町の対応は。

### 地域整備課長

施設管理者が行う除雪となるため、地域整備課では把握していません。

### 高橋(亨)委員

令和4年度農地参考賃借料は、他の市町と足並みを揃えているのか。

### 農地管理室長

参考賃借料の設定にあたり、検討委員会を設け水利の面からも、川西町の賃借料が最も参考になることから、川西町を参考に検討しました。



飯豊町旬祭×高円寺ハーヴェストの様子

菅野委員 飯豊町旬祭×高円寺ハーヴェストが企画されているようだが、お互い契約となった場合、送料やその準備などの負担が重荷になり長く続かない。今後の支援は。産業連携室長 初めての取り組みということもあり、これから様々な課題が見えてくると思いますので、末永く関係が持てるように支援をしていきたいと考えています。



報告

「飯豊電池バレー構想」に関する特別委員会 中間報告(概要)

特別委員会設置目的

飯豊町議会は、令和3年9月17日に全会一致で特別委員会を設置した。「飯豊電池バレー構想」は、人口減少を抑制することを目的として平成25年から町が山形大学と山形銀行とともにすすめてきたものである。町は多額の投資を行ってきたにもかかわらず、山形大学が「山形大学xEV飯豊研究センター」の管理運営から撤退し、貸工場においては予定されていた平成3年4月操業が大幅に遅れている。

また、学校法人赤門学院(以下、「赤門学

院」という。)が申請している専門職大学は、短大から4年制大学へと変更されたが、この3年間において文部科学省への認可申請見送りや申請の取り下げをしている。すでに校舎建設は終了し、町からの補助金(3.5億円)が支給されているため問題視されている。



大学校舎内

以上のように、同構

想において本町が担うべき事業はほぼ完了しているにもかかわらず、所期の目的が達成されていないと判断される要素が多いため、特別委員会を設置し、「飯豊電池バレー構想」の進捗状況と今後の事業内容を調査することにしたものである。

設置期間

令和3年9月17日から調査が終了するまで。

委員会の経過

令和3年9月17日の第1回特別委員会以降、これまで8回の特別委員会を開催した。

11月11日に、東山工



認可がまたれる専門職大学

委員構成

- 委員長 古山 繁己
- 副委員長 高橋 勝
- 委員 後藤恵一郎
- 高橋 亨一
- 川崎祐次郎
- 屋嶋 雅一
- 舟山 政男
- 遠藤 芳昭

業団地内の貸工場と赤門学院が認可申請中の専門職大学となる校舎を現地踏査し、施設の現状を確認した。貸工場は未使用、赤門学院は認可後の開学に向けて準備を行っていた。

また、電池バレー構想の全体事業を把握するため、「飯豊町起業支援施設」「貸工場建設

について「質問書」を提出した。さらに、セパレーター株式会社(以下、「セパレーターデザイン」という。)、赤門学院に対しても各々質問書を送付し回答を得ている。また、電池バレー構想に関する提案書を町長に提出し、その『回答』を受けた。

11月11日に、東山工業団地内の貸工場と赤門学院が認可申請中の専門職大学となる校舎を現地踏査し、施設の現状を確認した。貸工場は未使用、赤門学院は認可後の開学に向けて準備を行っていた。

町当局に対しては、3回の同構想における事業経過やその内容等

また、電池バレー構想に関する提案書を町長に提出し、その『回答』を受けた。



# 議長へ中間報告書を提出し、 継続して調査・検証を行う

## 全般の進捗状況

平成25年に構想を立ち上げ、平成26年度より令和2年度末までに要した総事業費。

- ・飯豊町起業支援施設  
(旧山形大学xEV  
飯豊研究センター)  
9億7163万円
- ・専門職大学  
3億5000万円
- ・飯豊町貸工場  
26億6496万円
- ・その他(人材育成事業・屋台村建設等)  
1億5510万円

## 合計金額

41億4169万円

## 起業支援施設

山形大学からの提案によると、飯豊町起業支援施設(旧山形大学xEV飯豊研究センター)における雇用は80

名、また貸工場においては、108名の雇用が見込まれているが、現時点で、町民の雇用はほとんどない。

## 専門職大学

令和3年4月に開学をめざした専門職短期大学の専門職大学に計画変更している。令和5年4月開学を予定し3度目の認可申請中であるが、町は3億5千万円の補助金を交付しており、校舎の建設も

完了している。

## 貸工場

東山工業団地内の貸工場は、セパレータデザインが令和3年4月操業を予定していたため、令和2年12月に竣工した建物であるが、その後に製品品質に影響がある「虫対策」が不十分として操業開始が遅れている。

## 今後の委員会運営

期について「令和4年4月に一部操業の開始を考えている」との回答を得ている。

以上の調査を経て令和4年1月19日、町長に対して『飯豊電池バレー構想に関する提案書』を提出し、2月3日に『提案書の回答』があった。「電池バレー構想」は、企業等事業者の自主的な経営や運営に依拠するところが多いものの、町長からは「今後も町の関与や支援は必要」との考えが示された。

雇用計画も含めた構想全体の進捗状況が「順調と言える状態ではない」と特別委員会として結論に至った。

町は予想以上の人口減少や若者の転出、さらに少子高齢化に直面しており、待ったなしの行財政改革が求められている。「電池バレー構想」への今後の事業内容や進捗状況について、議会としても継続して注視する必要がある。

これら一連の経過から、特別委員会としては「継続して調査・検証をすべき」と判断する。早期の操業を(貸工場)



早期の操業を(貸工場)



# 令和4年度予算決まる

## 《各組合・企業団議会》

### 小国分署に高規格車導入

#### 西置賜行政組合議会

令和4年第1回定例会

会が3月29日に開催さ

れ、令和4年度予算、

及び西置賜行政組合職

員の育児休業等に関す

る条例の一部改正の2

議案を原案どおり可決

しました。

一般会計予算の総額

は16億1923万円で

前年度対比0・9%の

減額となりました。

主な歳出は、おいた

ま荘施設の大規模改修

工事、消防署小国分署

に高規格救急自動車整

備、消防署ホースタワ

ー改修工事等です。

また、飯豊町の分担

金は2億2180万円

となりました。

### 南陽やすらぎ荘新築・4月運用開始

#### 置賜広域行政

##### 事務組合議会

2月定例会が22日に

開催され、令和4年の

各会計当初予算など5

議案を原案通り可決、

専決処分1件を承認し

ました。

一般会計予算の総額

は37億5142万円

で南陽やすらぎ荘の建設

工事費の減少などで前

年度比15・7%の減額

となりました。

また、飯豊町の分担

金は9917万円とな

りました。

### 公立置賜長井病院・5月9日開院

#### 置賜広域病院

##### 企業団議会

2月定例会が2月2

日に開催され、条例の

改正、令和3年度補正

予算及び令和4年新年

度予算ほかを審議し、

いずれも原案どおり可

決しました。

令和4年度病院事業

会計は、診療報酬改定

及びコロナ禍における

ワクチン接種の状況等

も踏まえ、入院及び外

来収入合わせ前年度よ

り7億5700万円の

増加を見込み、収入額

を173億6300万

円とする予算となりま

した。なお、飯豊町の

負担金は、前年度より

37万円増の3481万

円となりました。

## 定例会を 傍聴してみませんか

次回の定例会開催は  
**6月15日(予定)**からです。

インターネットでも  
見ることができます。



お問い合わせは議会事務局へ

### 編集後記

今年の冬は例年にな  
い大雪となりました。  
除雪作業では大変ご  
苦労なされたことと思  
います。

3月定例会は、新年  
度予算審議の議会でも  
あり、町の発展、町民  
福祉の向上のための予  
算が盛り込まれている  
のか慎重に審議しまし  
たので、本号をじっく  
りとお読みいただきた  
いと思います。



(後藤記)

#### 発行責任者

議長 菅野富士雄

#### 発行

広報公聴常任委員会

委員長 舟山 政男

副委員長 遠藤 芳昭

委員 後藤 恵一郎

川崎 祐次郎

屋嶋 雅一

高橋 勝